KISC

創業や経営革新に取り組むあなたを応援します。

CONTENTS

02 特集　経営者のための専門家派遣事業活用術
04 ベンチャープラザコーナー⑤⓪　ウニ殻の有効利用（カルシウム剤、色素など）
05 ベンチャープラザコーナー⑤①　人に優しい　環境改善　遮熱ヘルメット、遮熱シート
06 マーケティングの現場から～チェック・ポイントと処方箋：発売直後のマーケティング。
07 税務お役立ち情報：法人設立のメリット・デメリット
08 産業おこしへの挑戦（鹿児島県産業立地課）
09 平成20年度「かごしま産業おこし挑戦事業」助成対象企業決定
10 IT活用戦略：情報の洪水
12 女性起業家の声：再開！自分プロジェクト
13 産学官連携⑥⓪　イラスト入りQRコードでアクセス数向上を！
14 受発注情報
15 **Information**：九州６県合同広域商談会のお知らせ 等
16 上野原ビジネスプラザ・インキュベータルームの御案内
「かごしま企業情報」への掲載の御案内
センターホームページ「**KISC**ネット**21**」の御案内

10月号

October 2008

あんなとこにも、こんなとこにも。

Kagoshima Industry Support Center

（財）かごしま産業支援センター
URL http://www.kric.or.jp/

経営者のための専門家派遣事業活用術

～　専門家を派遣します。あなたの会社の経営改革をサポート　～

- 当センターでは、経営者の皆さんが抱えている、経営・技術・人材・情報化などのさまざまな問題を解決するために、「専門家派遣事業」を実施しています。
- この「専門家派遣事業」では、当センターに登録している**民間の専門家を複数回派遣して、専門的見地からアドバイスを行いますので、継続して問題解決に取り組むことが可能**となります。
- 今回は、「専門家派遣事業」を活用することで、生産管理の手法を学びながら、社員の意識改革や組織体制づくり等を行い、経営改善に取り組んだ事例を紹介します。
- 経営者の皆さん！「専門家派遣事業」を活用することで、経営改革を実現しましょう！

事例紹介＝法人向け野菜販売におけるマーケティング戦略と通販事業への取り組み＝

農業生産法人　有限会社　坂上芝園
専務取締役　坂上　隆　氏

＜企業概要＞
所 在 地：志布志市志布志町安楽２９９９
創　　業：平成７年４月
資 本 金：３１５万円
従業員数：２３名
業　　種：飼料製造業

○「専門家派遣事業」を利用したきっかけは

当社では、ケールやじゃがいも、大根等の大規模法人との契約栽培の取引を中心に事業を拡大してきましたが、これまでは、坂上芝園を知っている方から声が掛かるのを待っている状態でした。しかし、声が掛かるのを待っていては計画的な事業拡大は難しいので、もっと坂上芝園を積極的に知ってもうらう必要があり、そのためには、野菜販売においてもマーケティング戦略を導入し、大規模法人のみならず小・中規模の法人からもニーズを集約する必要があると感じていました。また、野菜流通市場でインターネットによる通信販売にも取り組みたいと考えていました。

しかし、具体的な展開方法が分からなかったため、以前から経営革新計画等のアドバイスを受けていたかごしま産業支援センターに相談したところ、専門家による指導を勧められ、この事業を紹介していただきました。

○具体的にどのような指導を受けましたか

①法人における野菜利用のニーズを集約するため、実際の小玉じゃがいもの販売を通じたテストマーケティングを行いながらマーケティングの手法について学びました。
②全社員が共有し、社内から外部へ発信するための経営理念の検討を行いました。
③ホームページやブログ、会社案内、チラシ等の外部に対するＰＲ方法の作成指導を受けました。
④東京や大阪で開催された農産物展示会への出展準備と展示会出展後の個別企業へのフォロー・アプローチの方法等を学びました。

＜坂上芝園のじゃがいも畑＞

○指導を受けた後、具体的にどのような効果がありましたか

小玉じゃがいものテストマーケティングを通じて、顧客（法人）ごとのニーズを把握するための様々なデータ（味、風味、用途、大きさ、量、規格、梱包方法等）を収集することができました。なお、テストマーケティングにおける小玉じゃがいもの販売は、当初の目標を大きく上回り、最終的には、12,000kg以上の販売実績を上げることができました。

また、専門家を交えて会社の経営理念を新たに作り上げた結果、幹部が会社の信念や進むべき道などをはっきりと認識することができるようになり、従業員への目標に対する明確な指示が出来るようになったことも大きな成果です。

○目的・目標の達成度とその評価は

小玉じゃがいものテストマーケティングを通じて学んだ手法を活用して、平成２０年７月にサイロール（デントコーンの発酵飼料）等販売のキャンペーンに取り組んだところ、７月の月間飼料売上高は、過去最高を記録しました。

次は、このマーケティング戦略を活用してさつまいもの販売に取り組んだ上で、さらに、他の野菜品目の販売にも導入していく予定です。

また、これまではマーケティング戦略の習得に重点を置いた取り組みを行ってきましたが、今後は、野菜のインターネット通販にも力を入れていきたいと考えています。

○指導を受けた感想は

今回、御指導いただいた専門家は、女性ということもあり、当社にはない発想・感覚・視点を有しておられ、とても参考になりました。特に、計画の立案方法や実行するまでの準備の重要性を丁寧に分かりやすく指導していただき、非常に価値ある経験をさせていただきました。

また、実地指導以外にも頻繁に電話やメールでアドバイスをいただき大変感謝しています。

この経験を今後とも、十分に活かしながら事業の拡大を図っていきたいと思います。

＜デントコーン（飼料作物）の収穫＞

＜サイロール（デントコーンの発酵飼料）＞

農業生産法人有限会社坂上芝園のホームページアドレス
http://www2.synapse.ne.jp/sakaue/

☆今回アドバイスをいただいた専門家☆

中島　秋津子 さん　（中島さんについての詳しい紹介は、Ｐ６にあります。）

■　専門家派遣事業の御案内

【対象要件】
- 創業又は経営革新等を行い、経営の向上を目指す意欲のある中小企業者
- 創業又は経営革新等経営の向上についての目標が明確であること
- 専門家の派遣により、支援の効果が期待できること

【費用の負担】
- 専門家派遣に必要な経費（謝金・旅費）の2/3以内の額を当センターで負担いたします。

【派遣企業の決定等】
- ＩＳＯの認証取得等を目的とするものは対象外とします。
- 上記要件に照らして審査のうえ派遣企業を決定します。

■問合せ先■

財団法人かごしま産業支援センター　新産業育成課経営支援室
ＴＥＬ：099-219-1273　ＦＡＸ：099-219-1279　E-mail：keiei@po.kric.or.jp

ベンチャープラザコーナー ⑤⓪

第３８回　ベンチャープラザ鹿児島
有限会社　尾塚水産
代表取締役　尾塚　ユイ子
阿久根市西目６６７５－１
ＴＥＬ：0996-72-0742　ＦＡＸ：0996-73-0814
E-mail:info@ozuka.co.jp
URL:http://www.ozuka.co.jp/

【ウニ殻の有効利用（カルシウム剤、色素など）】

【ベンチャープラザ鹿児島（二水会）】

（ベンチャープラザで発表する尾塚社長）

発表内容

＜企業紹介＞

阿久根市は、東シナ海に面し新鮮な魚介類が採れることで知られていますが、中でもウニは、鹿児島県の水揚げ量のほとんどを占めています。弊社は、佐潟という漁村集落にあり、昭和２７年からウニの加工一筋に営業を続けています。

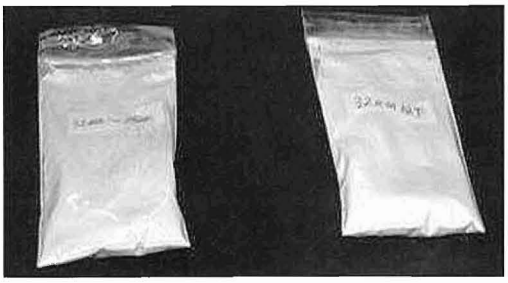
＜商品開発のきっかけ＞

ウニは、その生殖巣を食用にしますが、生殖巣の１０倍を超えるウニ殻が排出され、その処分に困っていました。

また、形が崩れたり色がよくない生殖巣も、商品にならずに捨てていました。これらの廃棄物を、何とか有効利用する方法はないものかと思ったのがきっかけです。

＜商品の目的・特徴＞

ウニ殻の主成分は、カルシウムですので、これを精製してサプリメントにすることが出来ないかと思いました。幸いこの試みは、（財）かごしま産業支援センターの平成１８年度研究開発助成事業に採用され、プレハブの研究棟や小型焼成炉などをそろえて開発を進めることができました。その結果、ウニ殻を高温焼成して純粋な酸化カルシウムにした後、これを空気中に広げておけば、炭酸ガスを吸収して自然崩壊し微粒子の炭酸カルシウムになることがわかりました（特許出願中）。

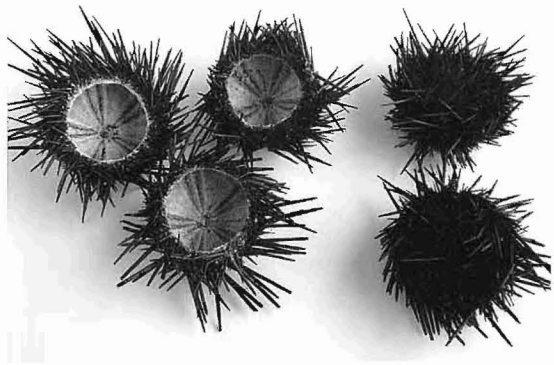


＜ウニ殻カルシウム＞

この「ウニ殻カルシウム」は、あらゆる食品にカルシウム強化剤として添加できるほか、工業用としても広範囲な用途が期待されます。

一方、生殖巣を採るために、従来はウニ殻を２つ割りにしていましたが、これに代えてウニ殻の底に円形の穴をあけるシステムも開発しました（特許出願中）。

この方法により、生殖巣の採取が容易になる上、ウニ殻を料理の「器」として使う道が開けました。



＜穴あけうに殻（食器）＞

また、商品にならない不良生殖巣から、麦味噌やみりんなどとあわせた「うに味噌」を作りました。

これは好評で、着実に販売量を伸ばしています。

さらに現在、「ウニ醤（ひしお）」や、これをベースにした「ウニドレッシング」「ウニソース」などを開発中です。

発表後の成果・感想

発表の機会をいただきありがとうございました。この発表を機会に、多くの人から商品についての問い合わせをいただき、また応援やアドバイスをいただききました。これらを有効に生かしたいと思っています。

今後の展望

（財）かごしま産業支援センター地域力連携拠点班並びに（独）中小企業基盤整備機構の関係者の御支援により、「地域産業資源活用事業計画」の認定（平成２０年度）を受けることができました。まだまだ多くの課題が残っていますので、それらの解決を図るとともに、新商品の販路開拓にも努力していきたいと思っています。

ベンチャープラザコーナー㊿

第３６回　ベンチャープラザ鹿児島

アース化研株式会社
代表取締役　松若　譲二
薩摩川内市宮崎町2052番地
ＴＥＬ：0996-20-5935　ＦＡＸ：0996-20-5941
E-mail:sbp-eco@earth-kaken.com
URL:http://earth-kaken.com/

【人に優しい　環境改善　遮熱ヘルメット・遮熱シート】

【ベンチャープラザ鹿児島（二水会）】

（ベンチャープラザで発表する松若社長）

発表内容

＜企業紹介＞

弊社では、鹿児島産“シラス”を活用したシラスバルーンペイントの研究、開発、塗料製造販売、施工を行っております。

シラスバルーンペイントは、平成１９年１２月「平成１９年度 地球温暖化防止活動環境大臣賞」を受賞しました。

今後も“地球に人に建物にやさしいピュアな環境”を目指し新たな時代へと挑戦し社会に貢献していける企業を目指します。

＜商品開発のきっかけ＞

遮熱ヘルメットは、熱中症対策、作業環境改善のために開発しました。

また、遮熱シートは、塗布工事を行いにくい場所でもシートを直接張るだけで遮熱効果が得られるよう作業改善のために開発しました。

＜商品の目的・特徴＞

（１）　遮熱ヘルメットについて

近年、地球温暖化の影響により気温は高く、工事現場や野外作業に従事している方は、熱中症の危険性が一層高まります。「遮熱ヘルメット」を被ることで頭部の熱を軽減し、快適な労働環境を実現し、作業効率の向上も望めます。

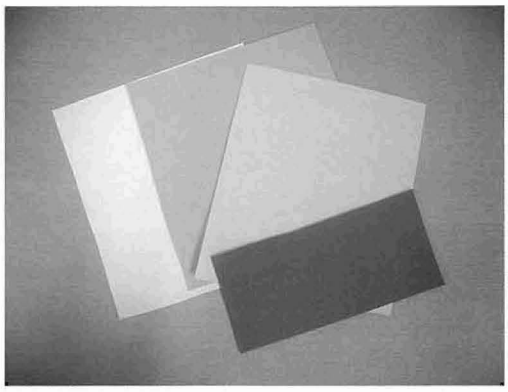
（実用新案第3125077特許庁登録）

＜遮熱ヘルメット＞

（２）　遮熱シートについて

電気(計器)ボックス、車輌、窓などに貼る等塗布工事を行いにくい場所へも使用可能となります。塗布工事と同じ効果を発揮します。

（実用新案第3129145特許庁登録）



＜遮熱シート＞

発表後の成果・感想

発表の機会をいただきありがとうございました。発表内容が報道され、県内企業より多数の問合せを頂きました。

また、トライアル発注とも重なり、遮熱ヘルメットに対して関心度の高い事に驚いています。

二水会事務局、参加企業の方々の暖かい御助言、御指導をいただき、大変心強く感じました。今後、より一層精進して参ります。

今後の展望

ヘルメットメーカーで国内シェアトップメーカーの谷沢製作所様とのタイアップで「遮熱ヘルメット」を鹿児島ブランド商品として強固にし、シラスバルーンペイントを活用した商品(遮熱ヘルメット・遮熱シート)を確かなものにしていきたいと考えております。

マーケティングの現場から
～チェック・ポイントと処方箋～

STUDIO K.　代表　**中　島　秋　津　子**
【Email】 info@studiok.biz
【Blog】 http://www.studiok.biz/

発売直後のマーケティング。

◆「さあ、発売開始！」

先月号では「発売直前のマーケティング」と題して、商品発売前にすべき3点を紹介しました。

1：コミュニケーション・チェック
想定顧客に広告などすべての販売系製作物を見てもらい、意図が伝わっているか確認しましょう。
2：PR活動とそのプランニング
PR活動を計画しましょう。発売前後ならではの情報を使うのがポイントです。
3：発売後の動きの想定
発売直後の初動売行パターンとその理由（仮説）、対応策を想定しておきましょう。スピード命！

そこで今月は、発売後に行うべきマーケティングの考え方を、売行パターン別に一つずつ御紹介します。

◆いい調子！売り伸ばそう。
⇒すぐできるのは「売れてます」情報の発信

お店で見かける「売れてます」というPOP。

プレ印刷されたものも、文具売り場でふつうに販売され、利用している店舗もよく見かけます。ネット通販・通販カタログでも「売れてます」や「昨年度ナンバー1」、「殿堂入り」などというマークがついています。オフィスに届くファックスの情報にも、売れ行き好調情報を示したものが届いていませんか？

“売れている”という事実を示す情報は、お客様に新たな「購買意欲」を呼び起こすことができます。期待はずれという不安感を減少させる可能性があるからです。

また、小売店や販売代理店などの流通サイドにとっても、自分たちの売上を上げるための大切な情報。さらなる注文やスペース拡大の検討がなされる可能性もあります。

営業担当、自社HP、メール、ファックス、店頭ポスター、POPなどのメディアを使って「売れている事実」を上手に発信してみてください。

◆悪くはないけど、届かないなぁ。
⇒「ズレ」を探して「ズレ」を埋める

目標を下回る時の一つの要因として、お客様の求めているものと、提供している商品・サービスとの微妙な「ズレ」の存在が考えられます。言うなれば「購入候補には入るけど落選」の状態です。

昨今のスイーツブームの牽引役のパティシエ（菓子職人）の方が、こんな趣旨の発言をされていました。

「きれいで美しい。それでは売れない。美味しく見えなくては、食べたいとは思ってもらえない。」

芸術的とも言えるデザートを創りだす方の言葉だけに説得力があります。新商品にかけたこれまでの努力や工夫・技術の使い道が、お客様の「欲しい」からどこかズレていなかったか、想定顧客に聞いて見ましょう。

素朴な感想に重要な気づきがあるものです。

◆まったく話にならない、低すぎる。
⇒「別の市場」の可能性を考えてみる

目標を大きく下回った場合、スピードをもって引き上げるケースも増えているようです。その際、最後にもう一度だけ「他の市場に置いたら？」と考えてみてください。

売り出した市場とは別の新しい市場。つまり、別の顧客層、別の流通、別の売り場、別の用途…その可能性を探るということです。「商品」と「顧客」をつなぐ「流通・営業」。この3要素の組み合わせを変えてみることで息を吹き返すこともあります。

【今月のチェック・ポイント】
発売後、売行パターンごとの
仮説を持っていますか？
↓
【マーケティングの処方箋】
1：好調！⇒「売れてます」情報発信で売り伸ばし。
2：少々未達⇒ミスマッチの解消でてこ入れ。
3：大幅に下回る⇒「別の市場」探し。

☆筆者紹介☆
中島　秋津子
（Atsuko NAKASHIMA）
分析レポート、事業プランニング、社員研修・講義など、マーケティングの観点から事業サポート・サービスを提供するSTUDIO K.(スタジオK)代表。

税務お役立ち情報

税理士・中小企業診断士
岩　元　耕　児
ＴＥＬ：099-260-0100
ＦＡＸ：099-260-0113
E-mail：tia@tkcnf.or.jp

法人設立のメリット・デメリット

Q　これまで食品製造業を個人事業としてやってきましたが、来月より株式会社を設立して法人成りしたいと思います。個人事業と比較して法人事業のメリット・デメリットなどを教えてください。

A

Ⅰ　個人事業と法人事業の違い

事業を個人としてやるのか、法人としてやるのかそれぞれ特徴がありますが、両者の違いの主なものは以下のとおりです。

項　目	個　人	法人（株式会社）
開業手続きと費用	比較的簡単で費用もあまりかからない	会社設立登記手続きが必要で、費用が少しかかる
社会的信用	一般的に、法人に比べてやや劣る	一般的に、信用力に優れ、大きな取引や金融機関からの借り入れ、従業員の募集などの面では有利である
経理事務	会計帳簿や決算書類の作成が簡易な方法でもできる	会計帳簿や決算書類の作成が複雑である（正規の複式簿記を使う）
事業に対する責任	（無限責任） 事業の成果はすべて個人のものとなるが、事業に万一のことがあると、個人の全財産をもって弁済しなければならない	（有限責任） 会社と個人の財産は区別されており、会社を整理するときには、出資分を限度に責任を負う。 ただし、代表者等は取引に際し連帯保証をするケースが多く、この場合は保証責任を負うことになる
社会保険	事業主は政府管掌の健康保険にも厚生年金にも加入できない。国民健康保険、国民年金に加入することになる	役員も会社が加入すれば、政府管掌の健康保険にも厚生年金にも加入できる
事業主の報酬	事業主に支払う報酬や生活費は経費にならない	社長や役員の給与は、役員報酬として経費になる

Ⅱ　個人事業と比較した法人事業のメリット及びデメリット

今までやってきた個人事業と比較すると、法人設立のメリットやデメリットで主なものは次のようなものがあります。

《メリット》

1　経営者の意識の転換が促進される
（1）計画的・合理的経営の推進
（2）家計と経営の分離
2　人材確保や従業員対策に役立つ
（1）社員の意識向上
（2）社会保険加入による人材確保推進
3　対外信用の増大が図れる
（1）得意先・仕入先などの取引先
（2）金融機関（資金調達が個人よりしやすい）
（3）役所・世間一般その他
4　税金対策が可能となり、以下のような税の軽減が図れる
（1）事業所得から給与所得への転換による個人の税の軽減（所得税・住民税・事業税）
（2）家族給与支給による税の軽減（所得分散）
（3）法人設立後の２期間、原則として消費税免税による税の軽減（資本金1,000万円未満の法人に限る）
（4）実費旅費から規程旅費に変更することによる税の軽減
（5）経営者保険など生命保険の保険料を経費にすることによる税の軽減
（6）退職金支給による税の軽減
（7）相続税対策

《デメリット》

1　各種の負担が増加する
（1）記帳事務の負担
（2）社会保険料の負担
（3）会計事務所などへの支払の増加
（4）議事録作成・登記など
2　税務上のデメリットもある
（1）利益の半分近くが法人の税金となる
（2）平成18年度税制改正で創設された一定の同族会社に対する増税措置である、「オーナー給与課税」適用の可能性がある
（3）交際費の経費限度枠がある
（4）税務調査が個人事業に比べて多い

Ⅲ　法人設立是非決定のポイント

事業繁栄のための法人設立ですので、単に税金対策が第一義的な法人設立はあまり成功しないと言えます。

一方、対外信用の増大や人材対策などを主目的として実行する法人設立は、さらなる事業繁栄の道をたどるものと思われます。

産業おこしへの挑戦

鹿児島県　商工労働部　産業立地課
Tel 099-286-2967
Fax 099-286-5578

「かごしま産業おこしへの挑戦」ホームページへようこそ
http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/okoshi/index.html

鹿児島県では、地域間競争が激化する中で付加価値の高い第二次産業の集積を図るため、“産業おこしへの挑戦”に取り組んでいます。

1. 企業立地促進法に基づく鹿児島県基本計画の策定

県本土地域全域及び種子島地域に地域の強みを活かした産業の集積を図るため、特定業種に対して、次の支援措置を講じる。奄美地域に関しても、今後基本計画を策定予定。

＊ 鹿児島県本土地域対象業種：自動車関連産業、電子関連産業、食品関連産業、情報通信産業、新エネルギー産業
種子島地域対象業種：農林水産資源活用産業、宇宙開発関連産業、情報関連サービス業、 高付加価値小型部品製造業

１） 特別償却制度

機械及び装置　（３億円以上）　→　取得価額の１５％
建物及び附属設備　（５億円以上）　→　取得価額の８％

２） 不動産取得税、固定資産税の課税免除　※条例制定中の市町あり

新増設する場合の建物及び敷地　（取得価額２億円超）　に対して課税免除
（固定資産税は３年間）

３） 工場立地法の特例措置　（緑地規制の緩和）※条例制定中の市町あり

環境施設２５％以上
（うち緑地２０％以上）
→ 市町の条例により緩和 →
環境施設２５％～１％
（うち緑地２０％～１％）

2. 「かごしま産業おこし挑戦基金」の設置　　基金総額２５億円

「自動車」「電子」「食品」に関連する中核的企業の創出及び地域資源を活かした産業振興を図るため、中小企業の新事業創出等の取組を支援。

１） 中核的企業創出プログラム

経営計画作成及び計画実施のための支援
（新製品等の研究開発、人材育成、専門家の招聘、マーケティング支援）

２） 地域資源活用促進プログラム

地域資源活用起業家を支援するための研究開発等の支援
地域資源を活用した新事業創出のための販路開拓等の支援

3. 「ものづくり重点業種支援事業」の創設

「自動車」「電子」「食品」に関連する産業の振興を図るため、企業の行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を一体的に支援。

１） 重点業種研究開発支援事業

研究開発に対する支援

２） 企業力向上支援事業

研修会の実施、派遣研修への助成及び販路拡大のための商談会の開催

３） 産業集積支援事業

自動車関連産業ネットワーク、電子システムソリューション研究会等の県内企業連携組織への支援

４） 広域連携事業

九州自動車産業振興連携会議、九州半導体イノベーション協議会等の九州内における広域的連携組織の主催によるセミナー、商談会への参加

新事業創出の取り組みを支援！

平成２０年度
「かごしま産業おこし挑戦事業」助成対象企業決定

かごしま産業おこし挑戦事業は、２５億円の「かごしま産業おこし挑戦基金」を当センターに創設し、運用益により自動車・電子・食品関連の戦略的産業振興分野及び地域資源活用分野に係る中小企業の新事業創出の取組を支援するもので、本年度から開始した事業です。本年度は、７月から８月に募集を行い、「かごしま産業おこし挑戦事業審査委員会」の審査を経て、下記のとおり５社に対し助成することに決定しました。

１　中核的企業創出プログラム事業

自動車、電子、食品関連の有望な技術（固有技術、管理技術など）シーズ等を有する中小企業者に対して、本県において中核的企業（地域を牽引する中核的な企業として成長が期待される中小企業）を育成するため、経営計画の策定や計画に沿って実施する研究開発・人材育成等に対して助成する。

助成率：３分の２　助成限度額：５年間で経営計画策定事業は３００万円
経営計画実施事業は６５０万円

申請者	テーマ名	事業内容	助成額
(株)省力化技研（日置市）	技術力のさらなる向上による電子部品製造装置事業の拡大	三次元CAD・CAMや画像処理技術など新たな技術を磨き、設計・開発体制を拡充し、電子部品製造装置の開発においてあらゆる顧客ニーズに対応することで、県内外の顧客から高い信頼と評価を獲得する。	230万円（経営計画作成100万円、経営計画実施130万円）
(株)南光（鹿児島市）	「品質管理の徹底」、「効率的な生産管理」による自動車関連産業への本格参入	品質管理を徹底するとともに、効率のよい生産管理の技術を高め、量産部品の生産を契機として自動車関連産業への本格参入を果たし、地域企業への発注拡大や、雇用の増加を図る。	190万円（経営計画作成60万円、経営計画実施130万円）

２　地域資源活用新事業創出支援事業

鹿児島県内に主たる事業所を有し、地域資源を活用して事業化を行おうとする中小企業者等に対し助成する。

助成率：３分の２　助成限度額：３００万円（単年度）

申請者	テーマ名	事業内容	助成額
(株)益田製麺（志布志市）	鹿児島県産そば「さつま生そば」の大手流通業者への販路開拓の挑戦	国産そば粉（鹿児島県産）、国産小麦粉を使用し、無添加で日保ちの良い生そばを製造するための研究開発を行う。	300万円
奄いち（奄美市）	奄美大島の素材を使った「島豚まん」製造・販売	奄美大島の島豚、ハンダマ、田芋、ダーナ（こさん竹）などを原材料とした安心・安全な「島豚まん」を製造・販売し、新たな奄美の特産品を目指す。	300万円
(株)鎌田工業（霧島市）	未利用資源を活用した飼料の新たな製造技術の確立	焼酎粕、でんぷん粕、さつまいも蔓など地域未利用資源を総合的に活用した、短期間で効率的な乳酸菌発酵飼料の製造技術の研究開発を行う。	300万円

ＩＴ活用戦略

株式会社イーデザイン
代表取締役　早川　孝一

〒890-0082　鹿児島市紫原3-34-23
TEL : 099-251-9821
URL : http://www.e-design.jp/
Mail: hayakawa@e-design.co.jp

情　報　の　洪　水

イーデザインの早川です。今月号から6回にわたり、フォーエバーの久永さんの連載に続いて、中小企業にとってITをどのように活用するべきか、お話をしていきます。

私がコンピューターというものに初めて触れてから、もう30年以上になります。と言っても、私の最初に触れたそれは現在のパソコンとはほど遠く、むしろ電卓に近いものと表した方が適当かもしれません。以来、様々な事柄をコンピューターで処理し、分析することで、紙に書いて考えるよりも、はるかに効率よく**「情報」**を扱ってきました。

私のこの経験は特殊なものでしょうか。いや、決してそうではありません。皆さんもこれまで特に意識することなく、コンピューターというもので**「情報」**を処理してこられたと思います。

20世紀の終わりに、時の森喜朗首相が「e-Japan構想」を語ってからは、世の中にITという言葉が露出し始め、否応なしにパソコンを触り始めた方もいらっしゃると思います。しかしながら、それは単に“操作する機械”が身近になっただけで、それまでは触らなくてもコンピューターの恩恵を受けていた事を少し考えてみてください。いろいろなものが「手書き」から「印字」されたものに代わってきていませんか？多くのものに「番号」がつくようになってきてはいませんか？

これらの事が、私たちの身の回りに浸透し始め、ついには、そういった事を私たち自身が簡単にできるようになってきたのです。コンピューターで処理されたもの、それは**“デジタル”**なものとして、従来の**“アナログ”**と対極的に位置づけられています。「デジタル放送」「デジタル家電」等々、世の中に**“デジタル”**という言葉が多く出回るようになりました。この対極については、本連載の中で詳しく述べていきたいと思います。

さて、こういった流れの中で、**「情報」**の伝達が大きく変わってきました。これまで、私たちの身近にあった情報収集源は、主にラジオ、テレビ、新聞、雑誌などでした。それらに取って代わらんばかりに出てきたのが、皆さんもすでに御存じのインターネットです。もちろん、それ以前にパソコン同士を結ぶ通信手段として、パソコン通信なるものがあり、私も御多分に漏れず、電話代がかかることなど忘れていろいろな**「情報」**に触れていました。

しかしながら、今から15年近く前にインターネットという新しい通信手段が民生用に使われ始めてから、急速にそれは広がり、今や「ネットにアクセスできないと、ウズウズする」という人がいるくらいに、私たちの生活やビジネスになくてはならないものとなっています。何かあると、すぐに検索、あるいはお気に入りの音楽をダウンロードして携帯用プレーヤーで聴く、といった行動を取るようになってきました。また、インターネットとは通信方式が異なるものの、携帯電話でメールをやり取りすることも日常となってきています。

ビジネスの世界でも、メールでの報・連・相や、ウェブサイトによる商圏の拡大、企業情報のディスクローズなど枚挙に暇がないほどに、インターネットは欠くべからざるものになってきています。

私は今、東京に駐在しているのですが、電車の中で片時も携帯電話を離さず、ずっと操作している人たちが非常に多いことに驚かされています。これは特に東京に限った事ではなく、鹿児島でも同様に見受けられます。

これらのことは、何を意味しているのでしょうか。

情報の氾濫

現在、世の中の非常に多くの事柄がコンピューターで処理され、私たちもまた、パソコンなどを多用しています。**「情報」**の多くは、インターネットやデジタル放送などを通じて、私たちの手元に届けられ、あるいは私たちが発信しています。実に多くの**「情報」**が世の中にあふれかえっているのが、現在の状況です。

この事は、私たちにスピード感を与えました。早く**「情報」**を知ることで素早い対応ができたり、**「情報」**を自ら発信することで共感する人々と交流したりすることもできます。

しかしながら、私たちが得ている**「情報」**は本当に正しいのでしょうか。検索サイトで「ある言葉」を検索すると、様々な情報が出てきます。ある者は“白”と言い、ある者は“黒”と言う。私たちは、どちらを取るべきなのでしょうか。こういった混乱が**「情報の氾濫」**により、引き起こされていることに、私たちは気をつけなければなりません。

情報による混乱

つい先日、ある航空会社のコンピューター端末が管理サーバーの暗号化機能の有効期限の問題で起動しなかったため、便が欠航するなどして多くの人の移動に影響を与えました。この不具合を起こしたシステムは、“able-D”（DはDomestic（国内線）の頭文字）と呼ばれるもののうち一部の機能で、文字通り国際線への影響はほとんどなかったようです。しかしながら、このシステムを利用している航空会社数社は早朝から荷物の預かり業務に支障が出て現場は混乱し、その被害は機材の都合にも影響したため、終日ダイヤに混乱を来したことは、報道で皆さんの記憶に新しいと思います。

東京では、通信に使われる「電文」というものが少しだけ違っていたために、地下鉄の自動改札機が機能しなくなり、大規模な被害を招いたこともありました。

「システム障害」という言葉は、最近よく耳にします。この言葉は、IT業界にいるとなおさらによく聞きますし、対応に追われることも多々あります。

このことは、何を意味しているのでしょうか。

情報をデザインするということ

私たちの生活やビジネスが便利でスピーディになった反面、**「情報」**によるリスクを抱えてしまったことに、私たちは気づかなければなりません。様々な**「情報」**が飛び交うことで翻弄されたり、**「情報」**が正しく伝達されないために動けなくなったりすることもあります。

とりわけ、企業で**「情報」**を取り扱うときに、正しく伝達し、正しく理解する必要があります。このときに必要となることが、**「情報デザイン」**という概念です。**「情報」**をデザインする？と不思議に思われる方もいらっしゃるかもしれません。

次回は、この**「情報デザイン」**についてお話をします。

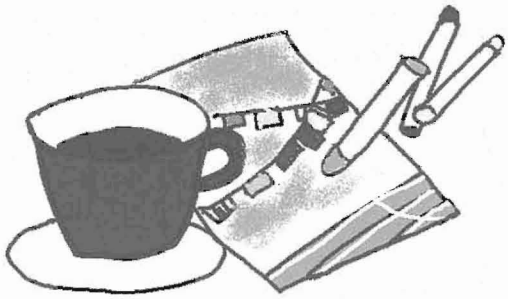
☆筆者紹介☆
早 川　孝 一　（Koichi HAYAKAWA）
株式会社イーデザイン 代表取締役社長

1999年 有限会社イーデザイン設立
2001年 株式会社に改組　同 代表取締役社長 就任
「情報デザイン」手法を用いたICTコンサルティングを行う。
2008年 株式会社ウッズインフォメーション 取締役副社長 就任
グローバル展開を図るため、事業再編・経営計画等行う。

女性起業家の声

鹿児島の女性起業家の方々に、起業家としての思いや抱負などを女性の視点でお話いただくコーナーです。

再開！自分プロジェクト



運動会　折田ひとみ作

迷いながらも思い切って

「さつま女性起業家塾」･･･

それは7年前、子育てがやっと一段落した頃、待ち続けた夢をかなえる為に、作品を発表しながら同時に経営も勉強していきたいと思っていた私が、なぜか気になる会でした。

いろいろと迷いがありましたが、「やはり入るべきだ」と思いきって参加させていただき2年になります。

その間、情熱的で笑顔にあふれた女性たちのパワーに、いつも元気や励ましをもらい続けてきました。

今は時期ではないと

もともと、新入社員として印刷会社に入社しましたが、希望の広告部門には転属できず、結婚もして6年の月日が流れていきました。

そろそろ、転職してイラストの仕事ができる会社を探そうと退職しました。が、このとき妊娠していることがわかり、今は時期ではないとあきらめました。結局四人出産したので、長い時間がたってしまいました。

私に道を開いてくれるきっかけ

三十五歳になった新年でした。

少しずつ、夢に向かってできることを始めようと、やってみたかった色鉛筆の通信講座を受けることにしました。

結局このことが、私に道を開いてくれるきっかけになったのです。そしてものの見方・考え方をゆっくりと広げてくれることにもなっていったのです。

その後、KTS主催のアートマーケットで、作品発表の場を得て、２００５年にはダンボールアートの作品をコンテンポラリーアーティストの村上隆さんに購入していただき、翌年にはスカウト賞をいただく幸運にも恵まれました。 また、いろいろな方の御厚意でギャラリーでの発表にもつなげることができました。

１０年先には…

しかし、依頼があって初めて仕事といえますし、起業もそこからになります。残念ながら、まだそこまでは、至っていません。

「イラストを中心に、ダンボールアート・雑貨制作」を仕事にしたい･･･仕事募集中です!

そして、10年先には、スピリチュアル・ファンタジーアートを表現していたい。

最近ジム通いをはじめました

遅れてきたアーティストとしては、ぜひとも生涯現役でいきたいと思い、またメタボ健診も気になるところから、最近ジム通いをはじめました。これがなぜか楽しくて、また新しい世界を開いてくれました。

つまり、座業(デスクワーク)ひとすじでは、どうしてもエネルギーが滞って脂肪もアイディアも重くなってしまいがちです。それを打開してくれたのです。

今までやりたいことは、いっぱいあるのに慢性疲労に悩まされて、なかなか思うように行動できずにいました。

肩こりも少し改善されて、静と動のバランスがよくなったのかもしれません。

楽しいと思えることをする。または、楽しさを今やっていることのなかに見出すという行為は、人の心に不思議な効果を生み出します。マンネリとストレスから自分を救ってくれるのです。

作品に込める思い

いままで、「ちょっと、持っているとうれしいよね」と思ってもらえるものを目標に制作してきましたが、そこには私なりのお客様に対する**うきうきの気持ちのおすそわけと応援**の思いがありました。

普通のおばさんである私がアートの世界で無事？起業できたら、自分にもできるかもと思っていただけるかもしれません。なにより、四人の子供たちが見ています。身近な"見本"としてはやるしかありません！

これからも創めたころの思いを大切に、あきらめずに進んでいきたい。そして今までに、出会うことができた方々、いろいろな経験に感謝しながら日々成長していきたいと思っています。

☆筆者紹介☆

折田　ひとみ
(Hitomi　ORITA)

アーティスト
(Star Light Ave.)
さつま女性起業家塾会員

鹿児島市生まれ

自画像　折田ひとみ作

産学官連携⑥⓪

株式会社鹿児島ＴＬＯ
吹　留　博　実
TEL：099-284-1631／FAX：099-284-1632

鹿児島TLOから大学発発明の御紹介

鹿児島ＴＬＯでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者のシーズを企業の皆さまに活用していただくために、研究者に代わって権利化したり、大学の機関帰属となったシーズを権利移転する活動を行ったりしております。今回は、鹿児島大学が出願し、鹿児島ＴＬＯが移転活動を行っている下記発明を御紹介いたします。

【発明の名称】　イラスト入りＱＲコードでアクセス数向上を！

【発明者】　鹿児島大学工学部教員

【出願番号】　特願２００７－３３０９２２　　**【出願日】**　平成１９年１２月２１日

【発明の概要】　QRコード（2次元バーコード）は、エラー訂正符号を利用しており、バーコード上にイラストを挿入することができます。しかし、エラー訂正が正しく行えるようなイラストの位置、サイズなどを知ることは困難でした。

本技術は、可読性を維持しながら、QRコード上にイラストを挿入することができます。本技術で作成したイラスト入りQRコードは、一般の携帯電話で読み取ることができます。

【図による解説】

1．視覚的誘因性を向上！

- **従来は困難だった複数のイラストの挿入も可能です。**
- **動くイラストも埋め込み可能なので、パソコンの画面、テレビ、電子ペーパー上ではアニメーションQRコードになります！**

2．埋め込まれた情報の種類を暗示！

- **アイコンを埋め込むことでメールアドレスやURLなど、どのような情報がQRコードに含まれるか、事前に知ることができます！**

★ 本技術は

マーケティングに利用できます！

さらに！！

Webサーバへのアクセス数の向上が見込めます！

【対象者】　新聞、名刺、電車内やスーパーに設置したモニタやテレビ上の広告などのサービスを提供する企業の方又はバーコード作成サービスを考えている企業の方にお勧めです。

御興味のある方は下記までお問合せください。

株式会社鹿児島ＴＬＯ　【 http://www.ktlo.co.jp/ 】
〒８９０－００６５　鹿児島市郡元１－２１－４０　鹿児島大学内
TEL ０９９－２８４－１６３１　ＦＡＸ ０９９－２８４－１６３２　E-Mail info@ktlo.co.jp
担当　吹留（技術移転マネージャー）、平川（特許流通アドバイザー）、肱岡（技術移転スペシャリスト）
町田（技術移転スペシャリスト）、赤﨑（技術移転スペシャリスト）、米満（NEDOフェロー）

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡下さい。
また、センターのホームページでも御覧頂けます。（URL：http://www.kric.or.jp）
なお、あっせんにあたっては、
①まず、企業の登録手続きをお願いします。（希望に応じた紹介あっせんが円滑にできます）
②あっせんはすべて無料です。

◆受注情報

No.	所在地	資本金（万円）	従業員数（人）	受注希望品目（加工内容）	主要機械設備
1	鹿児島市	856	20	工業部品、装飾品の金・銀・ロジウム・ニッケルめっき	軟質金めっきライン、硬質金めっき設備 銀めっきライン、ロジウムめっき設備 ニッケルめっきライン　他
2	南さつま市	3,800	180	SUS・AIの精密機械加工 セラミック等の研削加工	五面加工機（高速マルチセンター） フライス盤、旋盤、平面研削盤 マシニングセンター、両面・片面ラップ盤 センターレスグラインダー
3	霧島市	300	6	電子部品等の組立 各種検査業務	電動ドライバー 半田設備一式

◆お問い合わせ先　（財）かごしま産業支援センター　ビジネス支援課
TEL：099-219-1274　FAX：099-219-1279
E－Mail：business@po.kric.or.jp

～　下請取引改善講習会の御案内　～

国は、毎年１１月を「下請取引適正化推進月間」と定めており、当センターも「下請取引改善講習会」を開催することで、下請関連法令の普及・啓発に努めております。今年度につきましても、下記のとおり同講習会を実施することになりましたので、皆様の御参加をお願いいたします。

○開催概要

◆日　　時　：平成２０年１１月６日（木）１３：３０～１７：００
◆場　　所　：鹿児島サンロイヤルホテル２Ｆ「高隈の間」　鹿児島市与次郎１－８－１０
◆内　　容　：下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法について
◆講　　師　：川越法律事務所　弁護士　高橋　善樹　氏
◆対 象 者　：受注・発注企業の外注（購買）担当者など
◆参 加 費　：テキスト代　２，０００円／人
◆定　　員　：１００名程度（製造業及びサービス産業等が対象）
◆申込方法　：受講申込書に御記入の上、下記までＦＡＸにてお申し込みいただくか、又はお電話にて御連絡ください。
◆申し込み先：（財）かごしま産業支援センター　ビジネス支援課
ＴＥＬ：０９９－２１９－１２７４　ＦＡＸ：０９９－２１９－１２７９

Information

1　九州６県合同広域商談会（緊急広域商談会）のお知らせ

関西地区の発注企業と取引及び技術に関する情報交換を行うビジネスチャンスの場として、「九州６県合同広域商談会（緊急広域商談会）」を開催することが決定しましたのでお知らせします。

今回は、佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の九州６県と（財）全国中小企業取引振興協会の合同で開催することになっております。

当日は、発注企業の外注・購買担当者と直接商談できる絶好の機会となりますので、新規取引先の開拓や情報収集の場として是非とも御活用ください。

◆開催概要

【日　　時】　平成２０年１２月３日（水）１３：２０　～　１９：００
【場　　所】　ホテルグランヴィア大阪　２０階　名庭（なにわ）の間
　　大阪市北区３丁目１－１
【参加企業】　発注企業　約５０社、　受注企業　６県で約１００社（予定）
【対象業種】　機械、金属、電気、電子、ソフト関連企業
【内　　容】　１２：３０～　　受　付
　　１３：２０～１３：３０　開催セレモニー・主催者挨拶
　　１３：３０～１７：００　個別商談会
　　１７：２０～１９：００　交流懇談会

◆お問い合わせ先　（財）かごしま産業支援センター　ビジネス支援課　担当：内木場
　　TEL：０９９－２１９－１２７４

2　平成２０年度（後期）高度熟練技能者認定申請募集の御案内

高度熟練技能者とは、機械では代替できない高精度・高品質の製品を作り出す技能者、又は機械が作り出す製品と同等以上の高精度・高品質の製品を作り出すことができる技能者です。

鹿児島県職業能力開発協会では、厚生労働省委託の平成２０年度（後期）高度熟練技能者認定申請受付を次のとおり行います。なお、認定するにあたっては、中央職業能力開発協会による審査が行なわれます。

■募集期間■　平成２０年１１月４日（火）から平成２０年１１月２５日（火）まで

■対象業種・職種一覧■

募集対象業種	職　種
①　自動車製造関係	機械加工、金型製作、仕上げ
②　半導体製品製造関係	半導体用金型製作
③　民生用電気製品製造関係	機械加工、金型製作、仕上げ
④　電気機械器具製造関係 （民生用電気製品製造関係業種を除く）	機械加工、仕上げ、溶接
⑤　一般・精密・電気機械器具整備関係	工作機械整備、生産加工機械整備
⑥　航空機整備関係	機械加工、表面処理
⑦　鉄道車両整備関係	修繕・改造

■結果通知■　平成２１年２月中旬（予定）

■お問い合わせ先■　〒892-0836　鹿児島市錦江町11-40
　　鹿児島県鹿児島地域振興局第３庁舎３階
　　鹿児島県職業能力開発協会
　　ＴＥＬ：099-226-3240　　ＦＡＸ：099-222-8020　（担当：指宿）

上野原ビジネスプラザ・インキュベータルームの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベータルームを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

・インキュベータルーム　22室（平成20年10月1日現在６室が空室）
　面　　積：31.5㎡～111.15㎡
　月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）
　　なお、創業５年未満の企業については、使用料の減免があります。
　所　在　地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30

■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター　上野原ビジネスプラザ
〒899-4317　霧島市国分上野原テクノパーク４－３０
ＴＥＬ：0995-45-3511　　ＦＡＸ：0995-48-5270　　E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

「かごしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

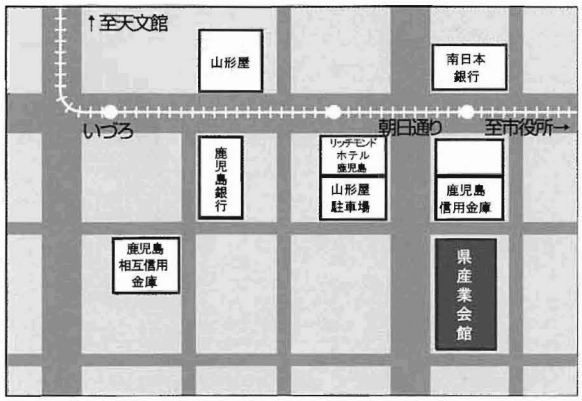
インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。

■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター　情報支援課
〒892-0821　鹿児島市名山町９番１号　鹿児島県産業会館２階
ＴＥＬ：099-219-1275　　ＦＡＸ：099-219-1279　　E-mail：info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？
こんなメニューがあります。
・センター・関連機関からのお知らせ
・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
・センターの調査物・刊行物の紹介
・ビジネスに役立つお勧めサイト　など
ぜひ、御覧ください！！　URL：http://www.kric.or.jp/



■「情報KISC」の表紙デザインについて■

表紙のデザインは、「かごしまデザインフェア２００８」の「ＫＩＳＣデザイン部門」に応募された総数１４７点の中から優秀賞を受賞されました　千葉　麻佑　さんの作品です。

～作品のテーマは「あんなとこにも、こんなとこにも」～
（千葉さんのはなし）

縁の下の力持ちとして、目立たないけれども様々な事業展開で鹿児島の産業を支える[かごしま産業支援センター]。思いもよらないところにもＫＩＳＣの影あり！ということを、ダルメシアンの模様に「Ｋ・Ｉ・Ｓ・Ｃ」が見えるというビジュアルで表現した。
＊デザインの“ＫＩＳＣ”は合成です。

情報KISC　１０月号
発行者：財団法人かごしま産業支援センター
〒892-0821　鹿児島市名山町9-1　鹿児島県産業会館２Ｆ
TEL　099－219－1270（代表）
FAX　099－219－1279
E－mail　kisc@po.kric.or.jp
URL　http://www.kric.or.jp